

活動報告

■活動日時：2023年8月6日(日) 9:30~15:30

■プログラム名：新五ヵ年計画策定ワークショップ

■目的：2024~2028の保全作業を立案する

■活動場所：自然観察の森

■参加者： 9名

■活動概要：現五ヵ年計画を基に作業を進めてきたカブトムシの森とアカマツ林で現地を見ながら現状を確認し、問題点や課題、今後の保全作業について話し合った。

■活動内容：

9時半にもーもーらんのSnow Peak前に集合し、ミーティング、準備運動をしていざフィールドへ、カブトムシの森の手前でペットと泊まれる宿泊施設が現在整備中で、どんなのができるんだろうか？とかワイワイ話しながらカブトムシの森へ到着しました。

A地区、B地区、C地区の順に、過去行ってきた作業や何がどう変わってきたかを説明しながら、今後何をしていくのかなど意見交換・質疑応答をしながら回りました。

センター前の世界の森で昼食、12時半にアカマツ林へ移動しました。

炭焼き小屋跡でアカマツ林全体に説明を行い、A地区からF地区を見ながら、各地区で昔の森の事や現五ヵ年計画で行った保全作業の説明、今後の作業の説明、質疑応答を行いました。

広葉樹の伐採を進めた現場では、萌芽枝や雑草がどんどん伸びる様子を前にこれらの除伐作業の大変さを確認し、計画通り進めてきて最終年度となる今年の伐採する木などを確認し、現場を14時過ぎに終えました。それからセンターへ帰り意見と取りまとめと次期五ヵ年計画を進めるにあたり、どこに注意して保全計画を取りまとめる必要があるかなどポイントとなる事項の洗い出しができました。

最後にこのWSの振り返りをした中で、入会して日の浅い会員への活動の説明が不足していたことがわかりました。

参加人数が少なかった分、顔を突き合わせながらそれぞれが思うことを話せた良い時間を過ごせました。





〈今回、わいわいお話しした参加メンバーです。〉